

第119回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題 A 第 73 問

73 73歳の女性。上顎右側犬歯の歯肉の痛みを主訴として来院した。6か月前から同部の歯肉に触れた際に違和感があり、1週間前から痛むようになったという。歯根中央部の歯肉に圧痛を認めるが、自発痛と打診痛はなく、歯肉に波動を触知しなかった。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)、エックス線画像(別冊No. 24B)及び歯科用コーンビームCT(別冊No. 24C、D)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇側*	2	2	2	2	2	2	2	2	③
歯種	4]			3]			2]		
口蓋側*	3	3	③	2	2	3	3	3	3
動揺度**	0			0			0		

* :プロービング深さ(mm)

○印:プロービング時の出血

** : Miller の判定基準

行うべき処置と使用する材料の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 骨穿孔 ————— 水酸化カルシウム製剤
- b 意図的再植 ————— 接着性レジンセメント
- c 歯根尖切除 ————— 強化型酸化亜鉛ユージオールセメント
- d 歯槽骨削除 ————— ハイドロキシアパタイト
- e 吸収部位の搔爬 ————— グラスアイオノマーセメント

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。